



2025年9月5日

各位

会社名 株式会社コンヴァノ
 代表者名 代表取締役社長 上四元絢
 (コード: 6574 東証グロース)
 問合せ先 執行役員 藤本光
 (TEL: 03 (3770) 1190 (代表))

業績予想の上方修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2025年8月14日に公表した業績予想を下記のとおり上方修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日) 通期業績予想数値の修正

(単位: 百万円)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,460	3,035	3,035	1,985	1,985	4.54
今回修正予想 (B)	11,170	5,335	5,335	3,490	3,490	6.88
増減額 (B-A)	2,710	2,300	2,300	1,504	1,504	—
増減率 (%)	32.0	75.8	75.8	75.8	75.8	
(ご参考) 前期実績 2025年3月期	3,241	135	128	78	78	0.18

(注) 当社は、2025年8月2日及び2025年9月1日付で普通株式1株につき10株の株式分割を行っております。「基本的1株当たり当期利益」は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたものと仮定して算定しております。

2. 2026年3月期 通期業績予想の修正理由

当社は、2026年3月期の通期業績予想について、8月実績および足元の受注動向を改めて精査した結果、売上収益・営業利益とも従来見通しを大きく上回ることが見込まれるため、本日付で再度上方修正することを決定いたしました。最新の通期見通しは売上収益11,170百万円、営業利益5,335百万円であり、前回(8月14日公表)からの増額は量的拡大にとどまらず、収益構造そのものの質的転換が着実に進んだことを反映しています。すなわち、単純な売上積み上げではなく、ポートフォリオの高付加価値化、オペレーションの高度化、資本効率の改善が同時並行で進展し、その合成効果が営業利益の大幅な上振れにつながりました。

上方修正の主要因の一つは、ヘルスケア事業において、LG Chem Ltd. との業務提携の深化を梃子に実行してきたサプライチェーン高度化の成果が、8月以降、高単価医薬品等の取扱数・取扱高の急増として顕在化したことです。当社は自由診

療領域における臨床ニーズの収集体制を基盤に、輸入調達・品質保証・ロジスティクスの各機能を再設計し、需要の変動に応じた在庫配置、価格弾力性の高いSKU構成の最適化、需要シグナルに連動した仕入・出荷の同期化を推進してまいりました。その結果、在庫回転の改善と利益率の上振れを同時に実現し、LG Chem社製の注入系製品で構築したネットワークおよびクリニック販路を他の高付加価値商材へ横展開することで、導入の初期摩擦を抑えながらスケールを加速させています。これらの施策は、当社が掲げる「高付加価値・高利益率ポートフォリオ」を実装する中核的ドライバーであり、ヘルスケア事業の上振れを直接押し上げました。また7月31日付「業績予想の上方修正に関するお知らせ」では、ヘルスケア事業の高単価医療用ヒアルロン酸製造等の契約院数の前提が、2026年3月期末500院のところ、今回は600院と上方修正しております。またMETA BIOMED Co., Ltd.との次世代型糸リフト素材開発および独占輸入代行に向けた業務提携による連携進展も、定量面での寄与見込みを高める要因となっています。次世代商品自体の上市予定時期は2025年12月末を予定しております。2026年3月期の次世代型糸リフト素材の取扱に関しては、上市時期がまだ確定していないため、業績予想織り込んでおらず、保守的な見積もりとしております。当社は次世代型糸リフトに関して、同社のPDO/PCL押出・加工技術と、国内クリニックから収集した臨床ニーズを組み合わせ、新規コグ構造（柔軟性と引き上げ力の両立）を設計しております。次世代ではない既存の糸リフト素材に関しては、META BIOMEDの海外症例データを統合した「グローバル×ジャパン」のハイブリッドデータパッケージを整備し、引き上げ保持率・疼痛スコア・ダウンタイムといった主要指標で他社取扱の既存品との差別化可能性を確認しています。これらを前提として、META BIOMED Co., Ltd.との連携強化により次世代ではない既存の糸リフト素材の売上は当期の後半にかけて通増を予測しており、ヘルスケア事業の利益率を持続的に押し上げる要因として織り込みを進めています。結果、当該事業の売上収益見通しは、8月14日時点の1,810百万円から今回2,600百万円へと大幅に引き上げています。今後、次世代型糸リフト素材の進捗次第で、上振れの余地が存在します。

他方、インベストメント&アドバイザー事業では、新規立ち上げの「オプション取引によるビットコイン・インカム事業」について、当期2026年3月期における合理的な収益算定を完了し、通期売上収益として1,920百万円を織り込みました。8月5日付「オプション取引によるビットコイン・インカム事業の開始に関するお知らせ」（以下「8月5日付開示」）では、300億円の資金で10%リターン（30億円）を目標としておりますが、想定よりビットコインのボラティリティが小さいシナリオも想定し、今回300億円の資金で6.4%リターン（19.2億円）という保守的な業績予想となっております。本プログラムは、現物ビットコインの保有または現金同等物を原資としたキャッシュ・セキュアード・プットを中心に設計し、デルタおよび満期分布を厳格に管理するルールベース運用を採用しています。想定レンジとボラティリティ水準に応じて複数テナーを組み合わせ、損益上限・下限、リバランスのトリガーを定量化しております。これにより、レンジ相場では通常のプレミアム獲得を積み上げ、急落時などボラティリティ発生時には追加でオプション収益を拡大する運営体制を構築しました。つまり収益ドライバーの中核は時間価値（セータ）の遞減に対する規律ある露出であり、ボラが過度に低下した局面では露出を抑制し、ボラ上昇時にはストライク・テナーを分散して段階的にエントリーすることで、期待プレミアムとリスクの比率を一定範囲に保つ設計です。

本インカム事業の収益性を特徴づけるのが、販管費等の経費負担が極めて軽微である構造的な特性です。商品性質上、在庫・物流・店舗運営・広告宣伝といった物理的コストや獲得コストが発生せず、収益の大半は取引で受け取るプレミアム収入となります。専任の少数精鋭チームで執行・管理・検証を内製化しており、新規の大規模採用や外注費の恒常的発生を前提としないため、固定費が膨らみにくく高い運営レバレッジが働きます。結果として、売上の増加がほぼダイレクトにセグメントの営業利益に転化し、インベストメント&アドバイザー事業全体の営業利益率を強力に押し上げます。1,920百万円というオプション取引による売上収益予測は、現時点でのビットコイン取得スピードを前提とした算定であり、取得スピードが上振れした場合は、オプション取引の量が拡大し、売上収益が比例して拡大する可能性がございます。つまり販管費等の経費負担が極めて軽微なため、オプション取引の拡大局面にはダイレクトに営業利益の拡大として、業績を向上させることが想定されます。

以上の取り組みを通じ、インベストメント&アドバイザー事業の通期見通しは、8月14日時点の売上収益2,300百万円、営業利益1,515百万円から、売上収益4,220百万円、営業利益3,435百万円へと大幅に増額されました。今回の上方修正では、低コストで安定的なインカム創出を可能にする新たな収益源の寄与により、利益率のさらなる改善を伴った規模拡大が明確になっています。これにより、既存のM&Aアドバイザー・投資案件のモメンタムに加え、ビットコイン・インカム事業により収益変動の平準化と再現性の向上が期待でき、事業ポートフォリオ全体の耐性と機動力は一段と高まりました。

8月14日に公表した上方修正は、ネイル事業のデータドリブンな需要予測に基づく人員配置最適化や、サプライチェーン再編による原材料調達単価の早期低減、インベストメント&アドバイザー事業における大型案件の確定などを背景に実施したものです。今回の修正は、その時点での論点に、8月後半から9月初旬にかけての確定情報を積み上げたアップデートであり、ヘルスケアとインベストメント&アドバイザーの両輪で上振れ幅が拡大しています。連結ベースの修正値（売上収益11,170百万円、営業利益5,335百万円）は、定性・定量の両面での変化を反映した帰結であり、当社が志向する「高付加価値・高利益率ポートフォリオ」への構造的シフトが一過性でないことを示しています。

総括すると、今回の通期業績予想の上方修正は、LG Chemとの連携深化に基づくサプライチェーン高度化と高単価商材の急伸、META BIOMEDとの提携進展に伴う糸リフト素材の寄与見込みの確度向上、そして販管費の増勢を伴わない設計で運営されるビットコイン・インカム事業の通期算定完了と織り込みという三つの要素が相乗し、売上規模の拡大と営業利益率の上昇を同時に実現したものです。これらはいずれも構造的・継続的な施策であり、短期的な一過性ではありません。当社は、足元の収益モメンタムを維持しつつ、ポートフォリオの質的改善と資本効率の最大化を図り、来期以降の持続的成長の土台を一層強固にまいります。

3. 今後の見通し

当社は2025年8月27日に「中期経営計画の修正及び改訂版中期経営計画「補完コード2029」策定に関するお知らせ」を公表しております。同計画では、2027年3月期に売上収益23,700百万円、営業利益9,500百万円を目標としております。今回の上方修正は、ハイマージン事業の比重拡大と資本循環モデルの確立が計画どおり進捗していることの証左であり、引き続き、収益機会の最大化とリスク管理の両立、ならびに適時・適切な情報開示を通じて、投資家の皆さまとの情報ギャップの最小化に努めてまいります。

なお、業績予想は現時点の情報および合理的な前提に基づいておりますが、経済環境の変動等により実際の業績が記載数値と大きく異なる可能性があります。当社は、重要な進捗や前提条件の変化が生じた場合には、速やかに開示を行い、投資家の皆様との情報ギャップの最小化に努めてまいります。

なお、2025年7月31日付「新たな事業（AIデータセンター事業）の開始に関するお知らせ」にてお知らせしたAIデータセンター事業、2025年8月6日付「データセンター活用型グリーン・ビットコインマイニング事業の開始に関するお知らせ」でお知らせしたデータセンター活用型グリーン・ビットコインマイニング事業及び2025年8月27日付「法定通貨連動型ステーブルコインの企画・開発事業開始に関するお知らせ」のステーブルコイン企画・開発事業は大きなポテンシャルを有しておりますが、今回の業績予想にも定量的影響をまだ織り込んでおりません。保有する暗号資産につきましては、IFRS上の会計処理につきましては再評価モデルを前提として行う方針で現在監査法人と協議を行っており、当該影響も定量的影響を織り込んでおりません。また、2025年8月27日付「METABIOMEDCo., Ltd.との次世代型糸リフト素材開発に向けた業務提携契約締結に関するお知らせ」に関しては、METABIOMEDCo., Ltd.との連携強化による次世代ではない既存の糸リフト素材の売上は織り込んでおりますが、次世代型糸リフト素材の売上に関しては織り込んでおりません。また影響額の蓋然性が高まり必要があれば、速やかに適時開示を行う予定です。

【各事業の売上収益、営業利益の予想数値の修正推移】

(単位：百万円)

		ネイル事業	コンサルティング事業	ヘルスケア事業	インベストメント&アドバイザー事業	連結修正	連結財務諸表
5月15日付開示業績予想	売上収益	3,273	518	953	1,105	△250	5,600
	営業利益	226	74	125	85	—	510
6月19日付開示業績予想修正	売上収益	3,300	1,050	1,700	1,200	△250	7,000
	営業利益	250	220	520	10	—	1,000
7月31日付開示業績予想修正	売上収益	3,300	1,100	1,810	1,200	△250	7,160
	営業利益	250	430	830	10	—	1,520
8月14日付開示業績予想修正	売上収益	3,500	1,100	1,810	2,300	△250	8,460
	営業利益	260	430	830	1,515	—	3,035
9月5日付開示業績予想修正	売上収益	3,500	1,100	2,600	4,220	△250	11,170
	営業利益	260	430	1,210	3,435	—	5,335

(注) 百万円未満を四捨五入して記載しております

【参考】 四半期別の売上収益、営業利益の予想数値

2026年3月期第1四半期の実績及び2026年3月期第2四半期～第4四半期の連結ベースの見通しは下記表の通りです。四半期別の見通しは不確実性を内包しており、前提条件に重要な変更が生じた場合には速やかに見直し・追補開示いたします

(単位：百万円)

	2026年3月期 第1四半期 (実績)	2026年3月期 第2四半期 (累計・予想)	2026年3月期 第3四半期 (累計・予想)	2026年3月期 第4四半期 (累計・予想)
売上収益	1,055	3,795	6,816	11,170
営業利益	174	2,062	3,317	5,335

以上